

## 令和5年度 第1回苫小牧市文化財保護審議会 会議概要

日 時：令和5年8月31日（木）15：00～15：40

会 場：苫小牧市役所第2庁舎 2階北会議室

○出席委員 簗島会長、明村副会長、大西委員、菊池委員、佐藤委員、野村委員

6名出席（欠席3名：中村委員、山岸委員、林崎委員）

○教育委員会 福原教育長

（事務局） 生涯学習課 河本課長、斉藤課長補佐

南部谷主査 野水主査

美術博物館 藤原館長、岩波学芸員、岡本学芸員

---

1 開 会 ～ 15：00

2 委嘱状の交付

3 教育長挨拶 教育長 福原 功

4 委員自己紹介

5 文化財保護審議会の役割について

6 議事

（1）会長・副会長の選出

◆先例に従い、事務局一任ということで提案。

会長に簗島委員、副会長に明村委員を選出。全体で承認される。

（2）今後の審議会の進め方、あり方の説明と確認

◆条例にある、役割に加え、審議会としても教育委員会に推薦すべき文化財の推薦についても検討していくことを提案する。

委 員：先ほどの説明でもありましたが、昨年、38年ぶりに市の指定文化財が認定され、今後も文化財の指定について話をしてくとしていたのですが、これまではどうしていたのですか。

事務局：これまでは、現在ある文化財を守る方法などの取り組みを検討してきました。しかし、文化財保護審議会としては、文化財の指定に対し審議、答申する役割があることから、昨年、美術博物館と連携をしてタプコブ遺跡出土の『クマ意匠』と『鉄製品』指定について議論し、答申して教育委員会にて指定が決定さ

れてきました。今年度についても、文化財を守るため、新たな文化財の指定と  
いうことを進めていきたいと考えており、そのための候補選定などについても  
審議会の皆さんのお力をお借りしたいと考えています。

会 長：いろいろな文化財がまだあるので、選定（指定）していこうという提案だと思  
います。これまでの活動に加え、（指定など）新しいことも取り入れて活動し  
ていければと考えます。

### （３）タブコブ遺跡の説明看板の作成について

◆昨年、新たに遺跡の遺物が市の指定文化財となり、現在ある、標柱につい  
ても見えにくい場所にあることから、新たに作り替えたいと考えます。

委 員：看板を作成するにあたり、樽前ガローなどもそうだが、駐車場の表記なども整  
備する必要があると思います。さらに、市内にある文化財の表記看板について、  
統一したほうがよいのではないかと思います。その方が観光客なども来た時に  
見栄もよく、SNS であげてくれるなど、苫小牧市の文化財を広く周知してもら  
えるのではないかと思います。

事務局：その方がよいと思いますが、所管としては審議会ではなく、生涯学習課になる  
ことから、生涯学習課として今後の検討課題としたいと考えます。

委 員：（看板について）市指定となった遺物の写真を入れるなどした方がよいと思う。

会 長：写真や、答申してきた内容説明も含めた看板となればと思います。

事務局：そのようにいたします。

### （４）『とまこまいの文化財』の改定について

◆新たに市の指定文化財が増えたことなども踏まえ、『とまこまいの文化財』  
の冊子についても改訂版を作成したいと考えます。

【質疑なし】

7 その他

【質疑なし】

8 閉会 ～ 15：40